ぎかい

小国町議会だより　第148号

2021.4.16

表紙関連記事は16ページ

3月定例会
予算審査

主な内容

- 2〜3ページ
  令和3年度予算決まる!
- 4〜8ページ
  各課審査報告
- 9〜13ページ
  一般質問5名登壇

小国町議会
ホームページ　http://www.town.oguni.yamagata.jp/gikai/index.html
e-mail　gikai@town.oguni.yamagata.jp

小国町議会　検索

2800万円 全員賛成

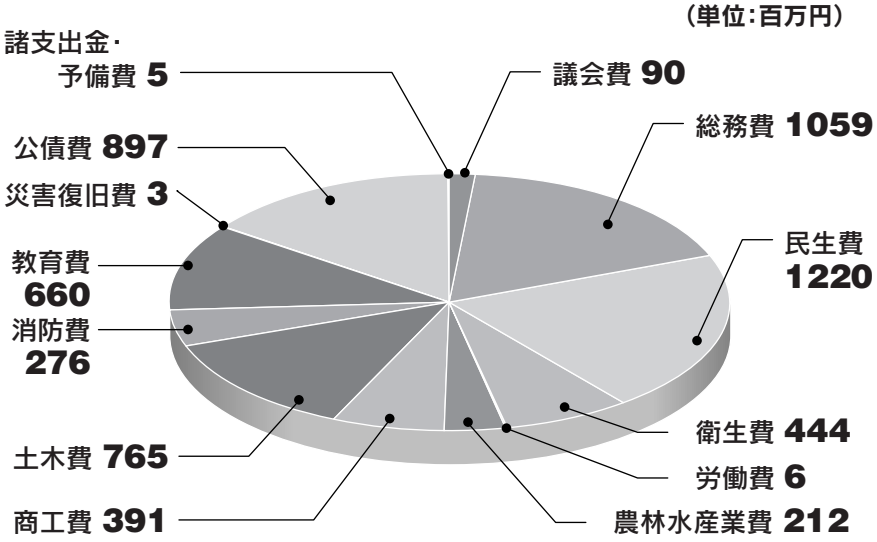
令和3年3月 定例会

あらまし

会期3月4日～12日
一般質問5名
補正予算8件　令和3年度予算12件
条例8件
予算特別委員会にて各課予算審議
全ての議案について可決した

令和3年度予算内訳

（単位：百万円）



主な事業

- 白い森みらい創生事業…3180万円
- 道の駅機能拡充事業…2782万円
- 次期総合センター建設事業…2021万円
- 高校地域留学支援事業……250万円
- 病院特別会計
  一般会計からの繰り入れ2億円
- 小国の食材　交流人口（新規事業）
  白い森サスティナブルスクール開催
  食による関係人口創出
- 電気柵設置事業…150万円
- 新規猟銃免許取得補助…17.3万円
- 横根スキー場管理運営…2274万円

主な条例改正等

■小国町議会議員及び小国町長の選挙における選挙運動に要する費用の公費負担に関する条例の設定について

要旨 選挙用ポスター、選挙用自動車等の経費を公費負担する。供託金必要

■小国町特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

要旨 消防団員の年額手当を引き上げる。階級により5000円～14000円

■小国町へき地保育所条例の一部を改正する条例の制定について

■小国町老人憩の家条例を廃止する条例の設定について

要旨 白沼保育園と同一施設の老人憩の家を廃止する。

■第14次小国町町有林森林経営計画を定めることについて

一般会計予算 60億

令和2年度補正予算後の一般会計予算
80億9465万円

一般会計補正予算追加

1月19日臨時会

●総額1億198万円補正
（主な内訳）
除雪費の追加　新型コロナ対策（ワクチン接種券発行システム）ふるさと納税返礼品

●専決処分
除雪対策基金より5000万円の繰り入れ執行

2月19日臨時会

●総額3608万円
（主な内訳）
新型コロナ対策（65歳以上1回目のワクチン接種）除雪費など

3月定例会

●一般会計補正予算
1億4180万円
（主な内訳）
病院事業会計繰出金
7000万円
小国町老人保健施設事業会計繰出金
2000万円
除雪費
3000万円

●人事案件
人権擁護委員
繁村弘美氏　新任
小国町大字幸町

早朝からフル稼働の除雪が続いた

3月定例会

請願

●「安全・安心で、ゆきとどいた教育実現につながる30人学級」の実現を求めることについての請願書

請願者
少人数学級をすすめる県民の会
世話人代表
高木紘一
伊沢良治
佐藤匡子

文教産建常任委員会にて協議を行い、継続審査となった。

※継続審査とは
閉会中に引き続き審査を行うこと。

陳情

●山形県立小国高校への支援拡充について

陳情者
小国高校を支援する会
会長　安部昌晴

令和3年度予算を全会一致で認定

総合政策課

Q 移住・定住者のため、働き方の具現化やマルチワーカーの確保はどのように。

A 受入れ運営組織「特定地域づくり事業協同組合」を設立するとともに、体験ツアーなどを実施し多様な働き方に対応していきたい。

Q 新規事業、白い森サスティナブルスクールとはどのような事をするのか。

A 都内の若者を対象にした事業である。
町民の方も参加いただき小国の暮らしや文化を共に学ぶことで、持続可能なコミュニティについて考えるものである。

Q 新総合センターについて、予算が2000万円とあるがその使途は。

A 来年度に行う予備調査（測量）も含めての予算である。また、町民の意見を聞く場も設ける予定である。

町民税務課

Q 軽自動車税の滞納者に対する対応は。

A これまでも電話催促や臨戸訪問等を実施してきた。軽自動車税だけでなく他の税目においても、滞納者が固定化している。過日「町税等収入金収納対策会議」を開催し収納目標を設定した。今後、滞納処分を行うことを検討している。

Q 自主防災組織の予算が計上されていないが何故か。千年に一度の災害に対する体制づくりのためには自主防災組織が必要ではないか。

A 令和2年度までは県からの財源で行っていたが、新年度は、その財源がない。
現在、ハザードマップの作製作業を行っている。配布する際に、地域住民に説明会を計画している。その中でも自主防災組織の組織化を呼びかけていきたい。資機材補助については、組織化の希望に応じて対応していきたい。

Q 消防団員が定数に達していない。若い時から参加するよう推進してほしい。どのような募集をしているのか。

A 今年度はコロナ禍で実施できなかったが、町長・団長で企業訪問をして協力をお願いする予定

としている。
　また、消防団員ＯＢ等を機能別消防団として配置し、有事の際の人員を確保する体制も整備している。

地域整備課

Q 橋の長寿命化のための点検をしているが、その結果で補修の順番が入れ替わるのか。

A 令和２年度から３年間で１６０橋ほど点検し、４段階に診断する。緊急措置の必要なレベル４は町内にない。対応必要なレベル３を補修しているが、過去の診断結果よりも損傷が進行している橋は、補修の順番を繰り上げて対応している。

消防団員募集中

Q 道路除雪オペレーターが高齢化している。人材確保に関しての予算はないのか。

A 直営工区では今年度二十代２名を新たに採用した。各業者も人材確保には課題を抱えていると認識している。厳しい業務であり、定着するのが難しいものと考えられるが確保に努めたい。また、除雪技術の継承という面もあるので、具体的な作業手法の勉強会開催など今後検討したい。

除雪技術の継承が必要

教育委員会

Q 「地域みらい留学365」とは、具体的にどのような事業か。

A 小国高校の魅力を広く県外に発信していき、更には小国町の交流人口に繋げていくという事業である。令和３年度は小国高校の第２学年に、男子３名、女子２名が県外から留学生として在籍することになる。

Q 高校再編の緩和の経緯を小・中学校の保護者に周知するべきでは。

A 昨年、県立高校再編整備計画が見直された。今後３年間を目途に学校の魅力化・活性化に取り組み、その後、募集定数の半分に満たない年が２年続いた場合に、地元自治体と改めて協議することに緩和されたものである。今後保護者に周知していく。

地域みらい留学

Q 歴史民俗資料館整備による今後の事業は

A 文化財としての財産管理を湿度、日光の課題、景観等を含めて専門の先生を含む検討委員会で検討していく。旧伊佐領小学校に今後文化財を保管して、学びの場としての活用や町外や町内出身者の方々に気軽に立ち寄ってもらえるようにしていきたい。今後経年劣化した既存施設の対応も考えていく。

健康福祉課

Q おぐに保育園から民間保育園へ転園の際に園児服の補助があるが、転園後のフォローはないのか。

A 転園後の聞き取りなどフォローはしていく予定である。また、閉園までの間に民間保育所と交流保育等を行い、転園しやすい環境を作っていく。

訪問看護ステーション

Q 訪問看護の回数が年間4700回という事だが医師が同行したのは何回だったのか。

A 訪問看護は、訪問看護ステーションの所管で年間4700回程行っており、この他に小国町立病院の所管として医師が同行する訪問診療を年間1100回程行っている。

地域医療・介護の要

産業振興課

Q 森林セラピー予算に関する記載が少なく、ソフト面の強化をしないと誘客につながらないと思われるが、どう考えているか。

A ソフト事業としての当初予算はないが、今後DMOを推進していく上で、小国町の観光関係の団体で組織体をつくり連携していきたい。その中で、森林セラピーを推進するために、これまで森林体験交流事業でノウハウを培った団体にも積極的にDMOに関わってもらいたい。

※DMOとは「Destination Management/Marketing Organization」の略 観光地域づくりを持続的戦略的に推進し、牽引する専門性の高い組織・機能のこと

セラピーアテンダントの活躍（温身平けもの歩道）

総括質疑

間宮尚江

おぐに保育園休園について

間宮　おぐに保育園休園までの園児、保護者、職員へのケアはどうお考えか。

町長　転園する園児には園児服等の支援や転園までに民間保育園との交流事業を実施している。職員には、説明会で今後の事も含め、丁寧に説明してきた。

小国病院事業会計について

間宮　人口構造の急速な変化で労働人口が減少し、税収も厳しさを増す。一般会計繰入がいつまで可能か。

町長　コロナ禍の影響が大きく、また国の医療体制が大きく変わってきた事や、人口構成の変化があり、依然厳しい環境である。引き続き県や国への支援要望はしていく。

間宮　総合診療科・総合内科の設置を検討すべき時期では。

町長　安心安全を第一義に改革していく。

その他の質疑
・小国町老人保健施設事業会計について
・空き家対策の予算について

小林嘉

町立病院の存続について

小林　令和2年度決算予想は、新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい決算予想である。病院の存続について伺いたい。

町長　一次医療の担い手（地域医療）として、急性期医療、高度医療の窓口や、家庭復帰を前提とした回復期医療等の入院設備を持った医療機関として、重要な病院であり、存続に向け努力していく。

包括ケアシステムの継続について

小林　包括ケアシステムの中核を担う医療機関としての役目は重要である。今冬の豪雪の中、医師の訪問診療が１１００回と聞いているが継続できるのか。

町長　医師不足ではあるが、出来る限り努力していきたいと思っている。

医師の確保について

小林　病院長が退職されると聞いている。現在の医師の誘致活動は進んでいるのか。

町長　県、山大医学部に派遣をお願いしているが前向きなご対応をいただいている。２科休止以外は現在の診療体制を組めるものと判断している。

今康成

道の駅整備・花広場管理について

今　道の駅再整備で、花広場管理業務の予算が計上されているが、管理委託業務はどのような人や業者を想定しているのか。また、指定管理者との兼ね合いはどうなるのか。

町長　今回はニッコウキスゲを中心として山野草的なイメージで整備する予定だ。知識のある町の方や業者の方に相談しながら進めていきたい。現在の指定管理者との兼ね合いでは、管理の詳細について契約上整理をしながら整備する。

今　道の駅の再整備に関しては町民の期待が大きいが、反面、見方は厳しくなる。令和３年度に販売部門の整備はあるのか。

町長　今回は花広場の整備をするということだ。

整備が進む道の駅の花広場

今　町民の意見を募る方法として、希望者が参加できる意見聴取の場を設ける計画はあるのか。

町長　現段階では指示してないが、今後、道の駅に対する構想を指示しながら、町民の意見を聞く場を設けることを検討していく。

渡邊重信

鳥獣被害防止対策について

渡邊　鳥獣被害に対して、農家の方々から電気柵の効果があると伺っている。今年度の対策は。

町長　鳥獣被害対策実施隊への支援、電気柵の設置費用や狩猟免許取得費を助成する。更にモデル地区を選定し、地域ぐるみで鳥獣被害対策を実施し効果を検証する予算を措置した。

渡邊　モデル地区以外の方々への補助はどう考えているのか。

産業振興課長　電気柵の設置については、一般向けに30件、町からの補助金は１５０万円を措置し、対策の充実強化を図った。

渡邊　モデル地区の取り組みは。

産業振興課長　モデル集落を選定し、地域ぐるみで獣害対策に取り組む事業を実証し、その効果に基づき、今後、町内各地にその取組みの拡大を目指していくものである。

有害鳥獣の入退路と想定される山際の刈払いを行い、緩衝帯をもうけ電気柵を設置する。

県や町、鳥獣対策協議会の事業を組み合わせて対策を実施する。

渡邊　協議会には、森林管理署・森林組合・ＪＡとの連携はあるのか。

町長　現時点ではない。

予算審査特別委員会報告書【要旨】

令和３年度各会計予算は、総額104億7,318万９千円、前年度比0.4%の増。一般会計予算は60億2,800万円、前年度比0.05%の微減で、３年連続で60億円を超える予算となった。税収を含む歳入が減額となり、地域経済の活力向上を先導するための投資的経費は前年度比11.9%の減となったが、繰越事業の投資的経費を含めると前年度比14.3%増の経費が確保された。

小国町病院事業会計予算は12億4,752万円、前年度比1%の微減となっているが、町立病院の経営は極めて厳しい環境にある。

新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種による重症化予防等への期待がなされているが、依然として収束の目途が立たない状況にあり、町民の暮らしや地域経済に大きな打撃を与えている。新型コロナウイルス感染症と町民生活・経済活動を両立する「新たな生活様式」の実現に向けて、「白い森まるごとブランド構想」に掲げる施策を着実に遂行することを強く望むものである。

令和３年度各会計予算12件については、次の意見を付して原案のとおり議決するものと決したので、小国町議会会議規則第41条の規定により報告する。

1　山形県立小国高等学校の存続が入学者の減少により厳しい状況にある中、県外からの地域留学生受け入れや小国高校への全国からの入学者募集に向けた側面支援は評価するものである。地元の中学生と保護者に小国高校の魅力が伝わる方策を講じ、地元・全国からの入学者をもって定員が満される環境づくりを期待する。

2　本町は豊かな自然資源や文化資源などを活用した観光交流の取り組みを推進している。本年度から地域連携DMOである「やまがたアルカディア観光局」へ参画することによって、置賜一円での広域による観光の情報発信や観光客の拡大、地域や民間事業者等の利益が生み出される効果を十分に発揮することを望む。

3　本町の地域づくりを象徴、牽引していく中核施設として次期総合センター建設予備調査に係る予算が組まれている。財政環境が厳しさを増す中で、本施設の建設に向け、国県補助等の財源確保を講じるとともに実現化のプロセスにおいて町民の主体性を尊重し、持続可能な地域づくりを担う拠点に向けた施設整備に努めること。

4　小国町立病院を取り巻く状況は、人口減少や医療環境の変化、新型コロナウイルス感染症拡大による受診控え等に伴い経営の悪化が続いており、外科・産婦人科をそれぞれ休診する決定がなされている。地域医療の担い手としての役割を堅持するため、新改革プランに沿った病院経営の効率化に取り組むことを強く望む。

●小国町立病院存続を
●沼沢地区の旧工場の適正管理を

間宮尚江（まみやひさえ）議員

小国町立病院事業の戦略は

間宮　小国町立病院は数年来に渡り赤字経営を期しており一般会計からの繰出金で賄っているという危機的財政状態にある。小国病院は高齢者、患者、病人の悲しみに添う医療を目指すべきであり最終的に町民に不安を与える施策を講じてはならないと考えるが町長の見解は。

効率化に一層努める

町長　国から策定プランの義務づけを受け本町では平成20年に策定された。地域医療の担い手、公立置賜病院との連携で安心安全を約束していくものであるが、人口減少や医療環境の変化で厳しさを増し、新型コロナウイルス全国的拡大を受け急速に悪化した。

持続的な継続のために令和3年5月から外科、10月から婦人科の休診を決断した。改革プランでは経営の効率化をうたうも、環境の変化が著しく経営は芳しくない。国が2025年の医療需要と病床の必要量を推計して示した地域医療構想に基づき、経営の効率化に向けて努める。本町の一次医療の担い手を第一義に、住民の身近であり高齢者や患者、ご家族が住み慣れた本町で生活することを支え、終末期までしっかりと寄り添う町立病院を堅持していく。

総合診療科、総合内科という選択肢はないか

間宮　小国町立病院存続の足掛かりとして総合診療科、総合内科の検討は。

町長　その議論はされている。山大医学部からの医師派遣事業の支援を受けており関係機関との話し合いが必要である。方向としては望ましい。

間宮　大きな課題を先送りして、働いている職員や町民が最終的に不幸な結果にならないために喫緊の課題として更なる検討を望む。

＊他の質問
沼沢地区の旧工場地と空き家対策について

沼沢地区旧工場地の適正管理を望む

新年度における新型コロナウイルス感染防止策は

＊ 企業等に対しての対策
＊ Uターン･移住者に対しての対策

小関和好（こせきかずよし）議員

新年度における感染防止策は

小関 4月には、高校生の留学をはじめ人事異動などにより人の出入りが多くなると想定される。また、都会からのUターンや移住促進の観点からもしっかりとした感染防止策が必要と考えるが町長の考えを伺う。

対策本部の基本姿勢

町長 昨年2月に対策本部を設置しこれまで36回の本部会議を開催してきた。毎年3月後半から4月には、県外からの転入など移動が多くなるため、感染者の発生が危惧される。基本的には手洗いやマスクの着用、三密を避けコロナ禍における「新・生活様式」の実践をお願いしていくことが、町の対策本部の基本姿勢である。

企業等の採用者・転職者に対しての対策

町長 首都圏との業務上の往来が多い町内企業では、早くから感染症対策のルールを設定し、一貫した対策を継続していると聞いている。具体的には、例年の実習を本年は実施しない。やむを得ず出張する場合は、帰宅後一週間は自宅待機等をルール化している。それぞれが必要に応じた感染対策について、検討、実施している。

Uターン・移住者に対しての対策

町長 各種協力隊においては、来町する2週間前から健康観察をお願いし、移住後も2週間は宿舎で待機し活動を開始することとしている。移住者も同様である。

観光交流施設の有効利用は

小関 観光交流の回復には時間がかかると考える。交流施設を待機所として利用できないか。

健康福祉課長 課題もあるが今後検討していく。

PCR検査体制は

小関 症状の無い町民が自主的にPCR検査を受けるには、どうすればいいのか。

健康福祉課長 町立病院で実費で検査出来る。

公共施設を感染予防に

小国町としての有償運送の仕組みが急務
診療科2科休止への対策を急げ

伊藤弘行（いとうひろゆき）議員

空白地有償運送の導入は進んでいるのか

伊藤　交通弱者の対策について令和2年度9月定例会でも議論した。さらに小国町立病院の2科休止の対策としても重要性緊急性が高まっている。昨年9月以降の進捗と今後の進め方は。

これまでの取り組みに加え民間の取り組みを紹介していく

町長　小国町地域公共交通会議から意見をいただきデマンドタクシーの運行見直しを実施している。

北部地区においては空白地運送実証事業を地域が主体となって取り組んでいる。利用実績から事業の利便性や認知度が向上している。また東部地区では若者が中心となって「にっこリンク」という組織を立ち上げ地域内の送迎も開始した。地域が主体的かつ独自に行っている活動に注視したい。その活動を小国町地域公共交通会議等を通じて他の地域に紹介していく。

利便性の強化は

伊藤　東部地区は有償で町まで来ていると聞いているが、なぜ北部地区においては町中心部までの運行ができないのか。

法的なハードルが高い

町民税務課長　時間的空白地、福祉運送で可能となるが、有償となるとハードルが高くなる。東部地区は利益を出さないので届出が必要なく、助け合いの中でやっている。

喫緊の課題では

伊藤　病院の2科休止の問題もあり全町民の安心のための制度作りが喫緊の課題ではないか。地区の取り組みを応援することは良いことだが、仁科町政として安心できる仕組みを整備する必要があると考える。優先度を上げて取り組むべきではないか。

必要性は感じている

町長　必要性は十分に感じているが、満足できる制度作りは難しい。検討する材料はいろいろあるのでトライしていきたい。

しっかり取り組んでほしい

伊藤　やれない理由を並べるのではなく、しっかりと取り組むことを期待する。

地域を支える東部地区の助け合い

●持続可能なまちづくりへの取り組みについて
●町民が安心する政策の提案と展望を望む

渡邊重信（わたなべしげのぶ）議員

ゼロカーボンシティー宣言は

渡邊　政府では２０５０年までに温室効果ガスゼロを目指す宣言を出した。それを受け山形県内でもゼロカーボンシティー宣言をする自治体が出ている。小国町としての計画はあるか。

具体的な取り組みが必要

町長　世界的な取り組みは加速度的に進むと思う。二酸化炭素の排出の実質ゼロを軸とした持続可能なグリーン社会実現に向けてＳＤＧｓ等の考え方を活用しながら、再生可能エネルギーの導入促進を中心に具体的な取り組みを進めていくことが必要と考えている。

渡邊　産業の持続化・新たな産業創出はどう考えているか。

小国産材の利用を図る

町長　木材利用に関する協定を都市部と締結し、小国産材の利用の拡大を図る。また、カーボンオフセット等の環境対策事業を検討していきたい。

町民の参加が必要

渡邊　小国町でも若い経営者を中心に再生可能エネルギーの普及の取り組み、小国高校生も小国町の資源、魅力を探究している。町民参加型でベクトルを合わせて取り組んでほしい。

町民目線での説明を

渡邊　おぐに保育園の閉園、小国町立病院の２科休止等、町民からは行政側の都合のみを説明し理解を求めているのではないかと聞いている。町民の権利を一方的に奪うような説明ではなく、町民目線での町民が安心する施策と展望を望む。

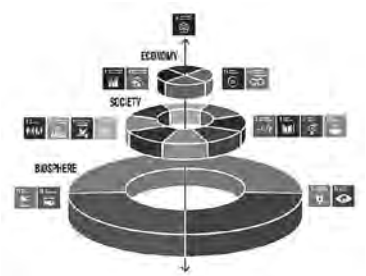
知恵を絞って進めていく

町長　大変厳しいご指摘を頂いた。自治体の役割はそこに住む人々の生活を支え活力を生み出していくことにあると認識している。限られた財源の中で知恵を絞っていかなければならない。

渡邊　町民の事を考え議論しても、行政都合だけの説明をすれば町民の理解は得られない。また新聞にもそのまま書かれてしまう。

町長　町民の話を聴き進めている。情報の出し方も今後気を付けて行く。

渡邊　サービスを無くすなら、それに代わる対策も出していただきたい。



「環境」「社会」「経済」と関連するSDGs

※カーボンオフセットとは、木材の生育と燃焼でCO_2排出がゼロになるという考え方

●観光の町づくり推進
●門前橋・田沢川改修

小林（こばやし）　嘉（よしみ）議員

単独の観光推進は限界

小林　コロナ禍、観光に関わる団体が、資金や人材や情報など共有・連携しなければ実効性のある成果は期待できず、各団体が単独単体での取り組みには限界がある。

補完し合い大きな力に

町長　関係する民間会社やＮＰＯ法人、地域総合商社等が、資金や人材、情報等の共有・連携が重要という指摘は同様と認識する。

　単体ではなく複数で相互に補完し合う取り組みこそが、これからの観光振興に欠かせない大きな力になる。

置賜2市2町と連携

町長　長井、南陽、白鷹、飯豊で設立されている観光地域づくり法人「やまがたアルカディア観光局」に令和3年度から参画する。

　本町には旅行業を登録している団体がなく活動に限界があった。

　この事業に観光協会、おぐに白い森㈱、白い森よこね物産品直売所、地域総合商社、ここ掘れ和ん話ん探検隊等が参加することで地域の「稼ぐ力」を引き出し「チーム小国」の力を結集する絶好の機会である。

アンテナショップ開設

町長　地域総合商社が主体となり「共同・協業販路開拓支援事業」で、新潟、仙台にアンテナショップの開設を予定している。

　置賜地域との連携で例示した事業者等に加え、小国町商工会やそれぞれの生産者等の力も結集することで、人手不足やコロナ禍の影響も減少できる。町も積極的に関与しながら必要な支援を行っていく。

　「町民の目に見える形で実効性のあるもの」を実践していく。

門前橋と田沢川の改修

小林　田沢頭自治会の門前橋の架け替え及び田沢川改修の要望は、どのように進捗しているか。

予備設計調査に着手

町長　来年度から門前橋の改良と前後の町道整備を含め予備設計調査に着手する。

共同で開催した
ランタンフェスティバル

改良が待たれる田沢頭門前橋

小国高校生との意見交換会を開催しました

令和３年２月19日、令和２年度小国高校生との意見交換会を開催しました。

議会の役割として、住民の声を広く聴くことによる開かれた議会の推進が求められています。このことから、将来に向けた若者の声や意見を的確に把握するための意見交換を行う場として小国高校２年生を対象とした意見交換会を開催しました。５グループに分かれ、高校生が個人探究した成果を発表し、その後「若者から高齢者まで暮らしやすい町ってどんな町」をテーマにワークショップ形式で熟議しました。

探究発表を行う高校生

熱心に議論する高校生と議員

出された意見を広聴広報常任委員会で深堀り

総務厚生常任委員会

第10回　令和3年1月14日
所管事務調査
- 暮らし応援事業に関することについて
- おぐに保育園に関することについて
- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 令和3年度の診療体制の方向性について

第11回　令和3年2月17日
所管事務調査
- 町立病院の経営状況等について
- 第8期介護保険事業計画について
- 小国町議会及び小国町長選挙の選挙運動における公費負担に関する条例の制定について

第12回　令和3年3月10日
閉会中の所管事務調査について
- 移住・定住に関する取り組みについて
- 白い森まるごとブランド構想推進事業について
- 新型コロナウイルス感染症防止対策について
- その他特に必要と認める事項について

文教産建常任委員会

第10回　令和3年1月14日　所管事務調査
- 除雪の状況について
- 雪害状況について

第11回　令和3年2月18日　所管事務調査
- 除雪の状況について
- 叶水小中学校の現状について
- おぐに保育園の現状について
- 観光ＤＭＯについて
- 飲食業者・宿泊業者に対する新型コロナウイルス感染防止対策協力金について

第12回　令和3年2月25日　所管事務調査
- 強風による横根スキー場リフトの被害状況について

第13回　令和3年3月10日
(1)請願審査について
「安全・安心で、ゆきとどいた教育実現につながる30人学級」の実現を求めることについての請願書
(2)閉会中の所管事務調査について
- ＩＣＴ活用推進事業について
- 高校生の地域留学推進のための高校魅力化支援事業について
- 新型コロナウイルス感染症防止対策について
- その他特に必要と認める事項について

広聴広報常任委員会

令和3年2月19日
- 小国高校生との意見交換会
  会場：小国開発総合センター

令和3年3月10日
閉会中の所管事務調査について
- 小国町議会だよりの編集について
- 小国高校生との意見交換会について
- その他特に必要と認める事項について

高校生の意見を深堀り中

おらもおぐに町民

町の人からちょっとひとこと
町外から嫁いで来ました!

プロフィール
名前（住所）
齋藤理恵さん　38歳
米沢市出身
（あけぼの在住5人家族）
勤務先
小国町立病院　総務係

Q 小国町に嫁いできて驚いたことは?

A **11年前嫁いで来ました。緑豊かで、山菜や茸、特に「なめこ」が美味しくて、驚きました。自然の恵みのありがたさを感じます。**

Q 冬道や雪の小国町をどう感じますか?

A **冬の積雪量は米沢市と同じくらいです。感心したのは、除雪がとても丁寧できれいですね。上手だと思います。除雪のおかげで冬は過ごしやすく、小国町の冬を不便だとは感じません。**

Q 現在、夢中になっていることは?

A **小学4年生の息子の野球スポ少の応援です。野球観戦が趣味でもあり、休日の試合が楽しみです。今は、試合の流れを掴むために、スコア付けの勉強をしています。**

Q スポーツ施設や町の環境はどうですか?

A **「あいべ」の屋内練習場は充実した施設ですね。町外のお母さんから羨ましがられますよ。また、子どもが幼い頃は横川ダムや「りふれ」によく遊びに行きました。遠出しなくても、いつも大自然が身近にありますね。**

Q お仕事も楽しそうですね?

A **はい。雰囲気も和やかで、やりがいがあります。仕事がきっかけでお友達も増えました。**

Q 小国町の人柄に触れてどうですか?

A **誰も知人のいない土地でしたが、義母に誘われて、当時のご近所の方々との交流の場で、お裁縫やお料理を教えてもらいました。とても支えられました。小国の方は優しいですね。**

Q ありがとうございました。これからも、お仕事、子育て頑張って下さいね。

（文責　間宮）

職場のみなさんと

次は6月定例会です。傍聴においでください。

議会に対してのご質問、ご意見をお寄せください。

議会事務局（62）2448

編集後記

ようやく、桜の開花だよりに心和む季節になりました。国難とも云えるコロナ禍にあっても、桜は咲いてくれました。

東日本大震災から10年が経ちます。ここ東北にも、桜は変わらず咲き続け、復興の歴史を共に見守って歩んできたのです。

散る桜を愛でるとき、命の重さに思いを馳せる時もあります。

いよいよ新年度がスタートしました。地方自治を取り巻く環境は依然厳しいなか、小国町予算の概要が決定致しました。

小国町が、今年も変わることなく桜に愛される春を迎えられますよう議員一同願っております。

間宮（記）

発行責任者
議　長　髙野　健人
広聴広報常任委員会
委員長　小関　和好
副委員長　伊藤　弘行
委　員　渡邊　重信
　　柴田　伸也
　　間宮　尚江
　　小林　嘉

小国町議会だより　令和3年4月16日発行　発行　山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町二丁目70番地小国町議会　編集　広聴広報常任委員会　☎0238-62-2448　印刷　加藤印刷　☎0238-62-2259